

軽トラック幌KH-5

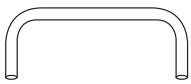

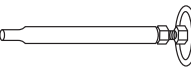

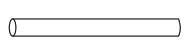


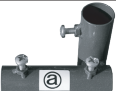


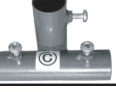

組立部材表

保存

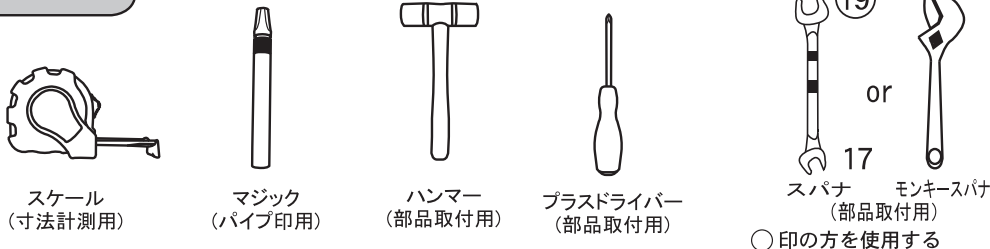
【2202】

【注意事項】

- ※組立作業を行う前にダンボールケース内の部材確認をお願いします。
- ※ジョイントは取り付け方向がありますので、組立説明書をよくお読みください。
- ※『安全上の注意』を良くお読みになり安全に作業をしてください。
- ※軽トラックに幌を取り付けての高速走行等(高速道路、有料道路)は、製品破損・事故誘発の原因になり危険ですのでお止め下さい。
- ※幌シートの取り付け不備、劣化等により、雨漏りのおそれがあります。
- ⚠ 電気製品、寝具、その他の再生不能な物の運搬は避けて下さい。
- ※軽トラックゴムマットは別売りです。

No.	品名	規格	数量	形状	No.	品名	規格	数量	形状
①	アーチパイプ	25×167LL mm cm	5		④	d) T型ジョイント	28×28 mm mm	5	
②	脚パイプ	25×113S mm cm (アジャスター付)	6		⑤	十字ジョイント	28×28 mm mm	2	
③	横通しパイプ	25×93.5 mm cm	8		⑥	キャップ	25用	12	
④	T型ジョイント各種				⑦	絞りクリップ		2	
	a) T型ジョイント	28×28 mm mm	2		⑧	固定用ロープ	4.5×1 mm m	6	
	b) T型ジョイント	28×28 mm mm	2		⑨	幌天幕		1	
	c) T型ジョイント	28×28 mm mm	5		⑩	ゴムバンド	60 cm	20	

準備する工具



※幌シートは、張り替え用があります。販売店にお問い合わせください。

※本商品のジョイントのネジの締め込みはプラスドライバー等を用いた手動の組み立てを前提に準備しています。
電動工具をご利用の際は、テンションをかけすぎますと部品破損の恐れがありますので、ご注意ください。



製造発売元 南榮工業株式会社
〒885-0004 宮崎県都城市都北町5025
TEL 0986-38-0111

安全上のご注意

この商品を安全に正しく使用して頂く為に、組立られる前、また使用される前にこの『安全上のご注意』を良くお読みの上、十分に理解して頂き正しくご使用ください。

- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示の意味は次のようになっています。



警告

誤った取り扱いをした時、人が死亡または、重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。



注意

誤った取り扱いをした時、人が重傷を負ったり物的損害の発生が、想定される内容を示します。



警告

- ◇使用前には、フレームとシートの点検を必ず行ってください。(フレームの変形、シートの破れキズ、各 부품のネジ・ボルトの緩み等)
- ◇フレームが破損した場合は、非常に危険ですので使用を中止して、当製品をお買い上げになった販売店にて、交換部材等をお買い求めになり、正しく取付けられた後、安全を確認してから使用してください。
- ◇走行中の外れ等、万が一の危険を想定して荷台への固定等は確実にしっかり行ってください。
- ◇風対策としてのフレームと荷台の固定を別途行って頂きます様お勧めします。
- ◇強風・あるいは降雪が予想される時は、使用を中止してフレームとシートを取り外して別途保管してください。
- ◇フレームの上に載ったり、過重がかかるような使用は絶対に行わないでください。



注意

- ◇フレームに物を掛けたり、ぶらさがらないでください。
(特に子供さんには十分注意をしてください。)
- ◇軽トラック幌本来の機能(荷台への雨・風・日光よけ)以外で使用しないでください。
- ◆組み立て・シート取付け等の作業には十分に安全を確認してください。
- ◆**時速80km以上(高速道路)の走行は危険ですので止めてください。**
- ◇ゴムバンド取扱い上の注意
 1. ゴムの中に含まれている油分の浸透により、色移りする場合がありますので、使用時には養生等を行なってください。
 2. ゴムバンドを使用する際は、跳ね返りやゴムが切れる場合がありますので、引張る直線上に人がいないように注意して使用ください。
 3. ゴム表面にひび割れやキズ等が発生した場合は、使用を避けてください。
 4. 高温の場合での使用は避けてください。
 5. 伸張力を最大に伸ばして使用の場合、風圧等で切れる場合がありますのでよく確認をしてから使用してください。

この組立説明書及び『安全上のご注意』は、事故防止と部品交換時の為に大切に保管してください。

軽トラック幌 KH-5

組立説明書



保存【2202】



南榮工業公式HP 南榮工業公
南榮工業公式HP 南榮工業公
南榮工業公式HP 南榮工業公



南榮工業YouTube 南榮工業Y
南榮工業YouTube 南榮工業Y
南榮工業YouTube 南榮工業Y

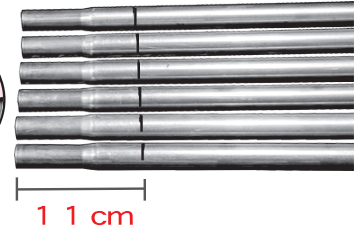
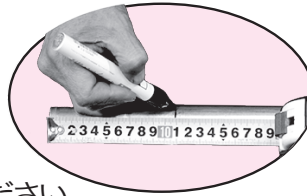
軽トラック幌KH-5 組立説明書

保存 [2007]

1 脚用パイプを準備します

- ②脚用パイプ6本に、各ジョイント(④⑤)を取り付けるための、**目印線**をつけておきます。(後で取り付けます。)

※オス(先が細くなっている方)の先から、**11cm**を計り、マジック等で印を付けてください。



- ②脚用パイプ6本の、高さ調整をします。

※軽トラのキャビンの高さ(キャビン後部、鳥居部)は、各メーカーにより違いがあるためです。



脚高さ調整アジャスターの目安幅			※ 2014年12月新車販売比較
	ダイハツ ハイゼット 約3.5cm		ホンダ アクティ 約0cm
	スズキ キャリイ 約3cm		日産 クリップパー 約3cm
	マツダ スクラム 約3cm		トヨタ ピカサス 約3.5cm
	スバル サンパー 約3.5cm		三菱 ミニキャブ 約4.5cm

目安幅ですので、各車に応じて、設置後の最終調整が必要です。

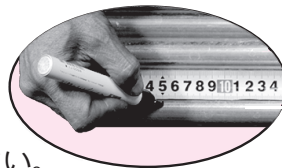
引き出し手順

- ドライバーなどで回すとアジャスターが引き出せます。
- ナットを移動させます。
- 目安幅を計り、ナットを仮締め(固定)します。
- アジャスター調整完了です。(仮調整です)

2 脚部を組み立てます

- ③横通し用パイプ8本に、各ジョイント(④⑤)取り付け用の**目印線**をつけます。

※ 片側に、パイプ先から、**5cm**を計り、マジック等で印を付けてください。

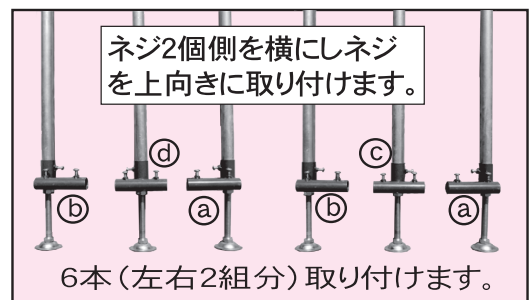
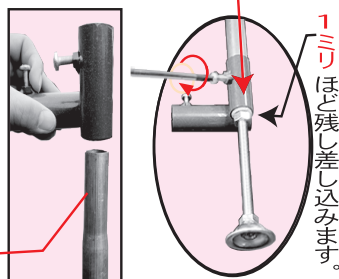


- ②脚用パイプ(調整済み)に、④T型ジョイント(① ② ③ ④)を取り付けます。

※ 各ジョイントは、ネジが1個側を差し込みます。

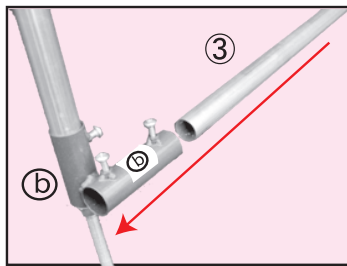
※ 各T型ジョイントを②脚用パイプ(調整済み)に差し込んでいきます。T型ジョイントの位置決め後、ネジを締め込み固定します。

脚用パイプのオス(先が細くなっている方)から差し込みます。

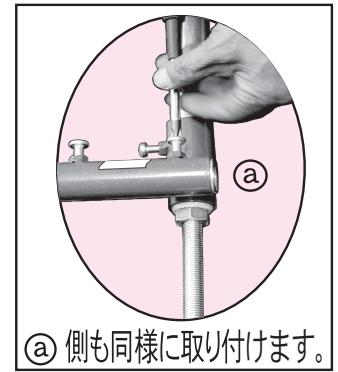
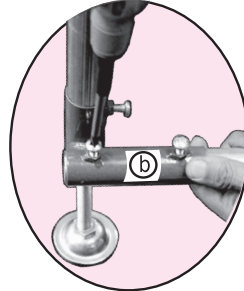
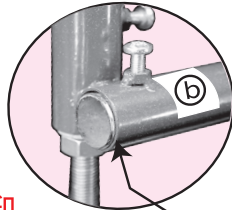


● ③横通し用パイプ2本を取り付けます(2組)。

※ 両側の④T型ジョイント(Ⓐ ⓑ)への取り付けます。



bの拡大

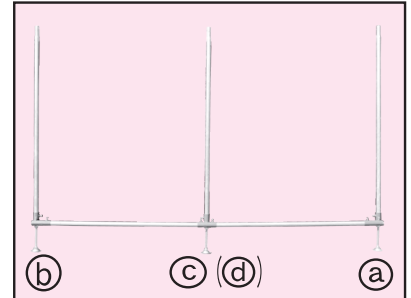
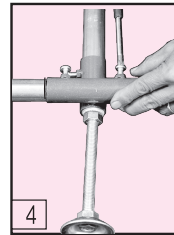
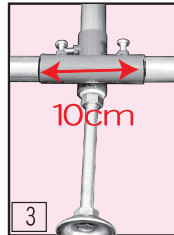
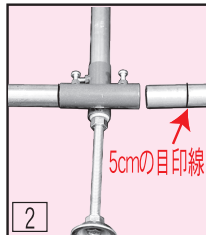
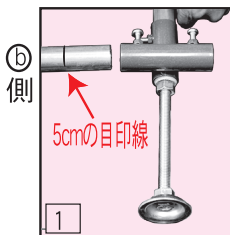


③横通し用パイプは、5cmの目印線が無い方を差し込みます。

1mmほど出します。ネジを締め込み固定します。

Ⓐ側も同様に取り付けます。

※ 中央の④T型ジョイント(ⓒ ⓓ)へ取り付けます。



③横通し用パイプは、ⓑ側 Ⓐ側 それぞれ5cmの目印線がある方を差し込み、線に合わせます。

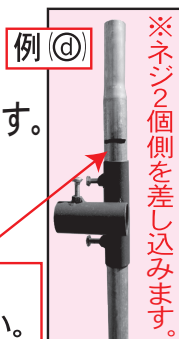
ネジを締め込み固定します。

3 アーチ用パイプを取り付けます その1

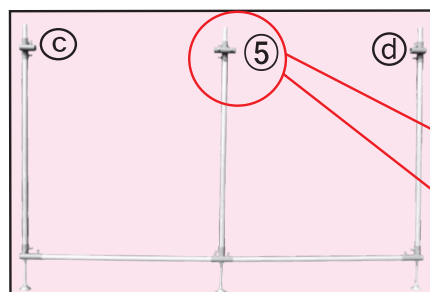
- 2で組み立てた脚部に、④T型ジョイント(ⓒ ⓓ)、⑤十字ジョイントを取り付けます。

※ ⑤十字ジョイントは、向きを入れ替え、この脚部を2組作ります。

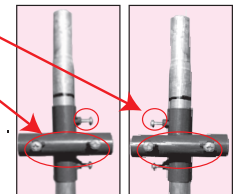
※ 1で付けた目印線より下の位置で、各ジョイントを仮止めてください。



※ネジ2個側を差し込みます。



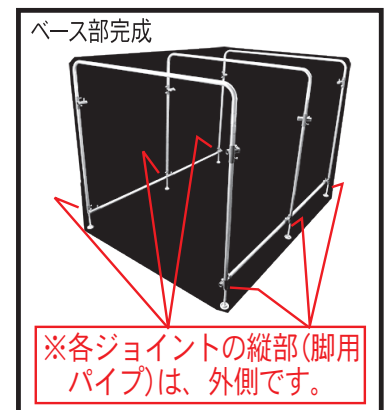
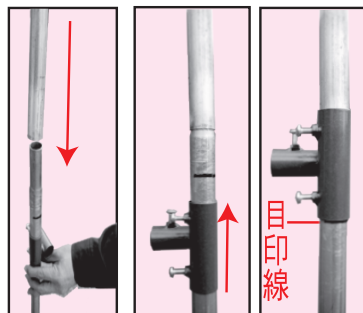
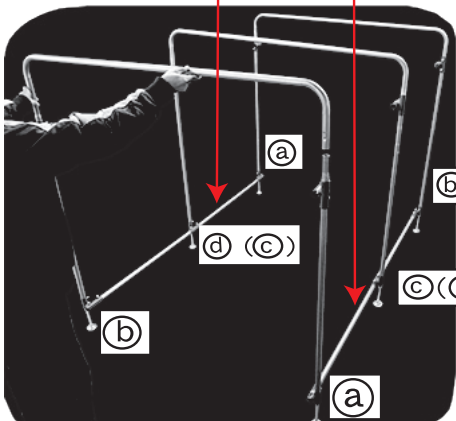
× 2組



※ ⑤十字ジョイントの向きを入れ替える際、ネジの方向に注意してください。

- 脚部に、①アーチ用パイプ 3本、取り付けます。

※ 横通し用パイプは内側になります。



ベース部完成

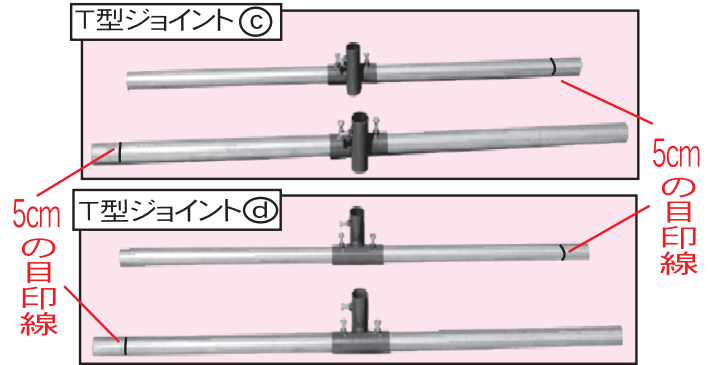
※各ジョイントの縦部(脚用パイプ)は、外側です。

※ ①アーチ用パイプを、脚用パイプにしっかり取り付け、各ジョイント(ⓒ ⑤ ⓓ)の下部を、目印線に合わせ、ネジを締め込み、仮止めてください。

4 上部横通し用パイプを取り付けます

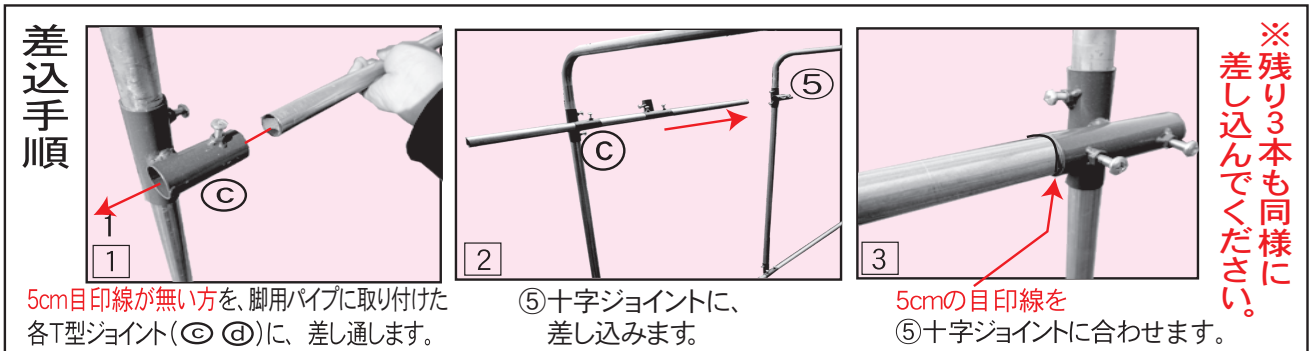
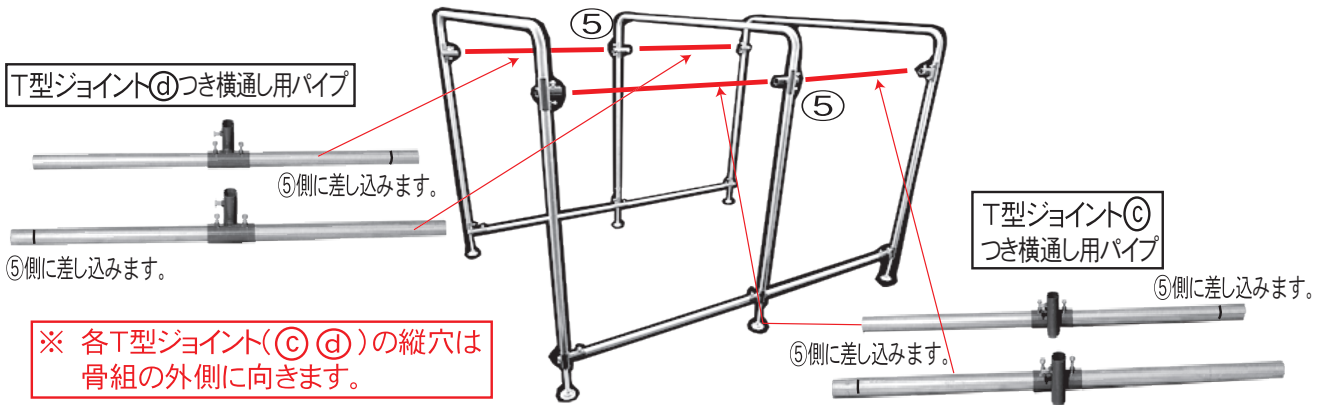
- ③横通し用パイプ 4本に、④T型ジョイント(㉔㉕)を差し込みます。

※ ③横通し用パイプを、**2** で付けた
5cmの印線がある方を左右に
置き(2組)、各T型ジョイント(㉔㉕)
を通します。ネジの締め込みは、
5 アーチ用パイプ取り付け その2
で行います。

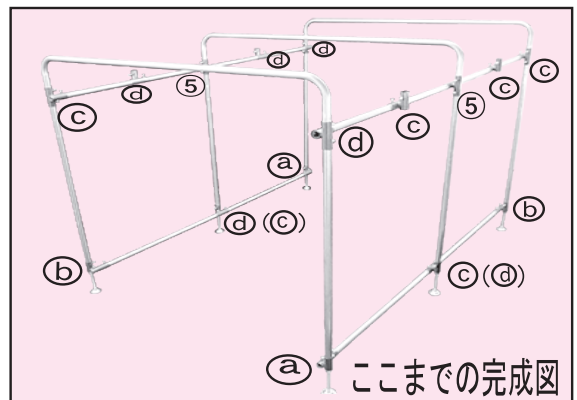
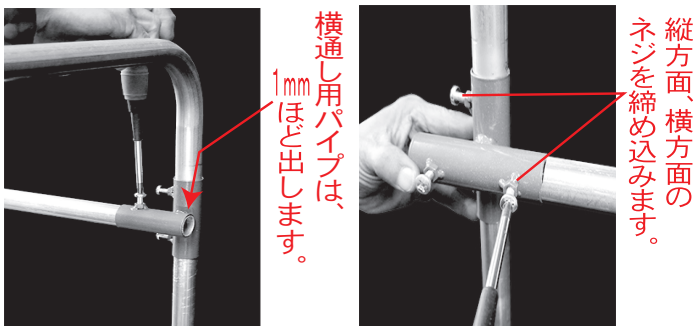


- **3** で組み立てた骨組に、ジョイントつき横通し用パイプを取り付けます。

※ 骨組に取り付けられた、前後のT型ジョイント(㉔ ㉕)に横通し用パイプを通し、
5cmの目印線がある方を、⑤十字ジョイントに合わせ取り付けます。



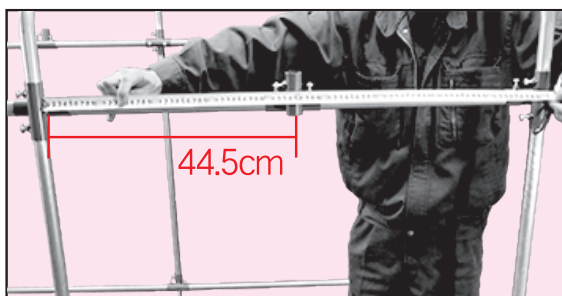
※ 各ボルトを締め込み固定します。



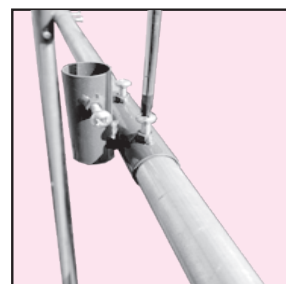
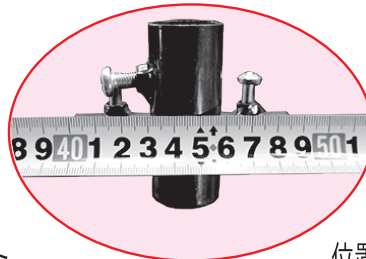
5 アーチ用パイプを取り付けます その2

● 残りの、①アーチ用パイプ 2本を取り付けます。

※ 中間のT型ジョイント(◎◎) 4箇所 の位置決めます。



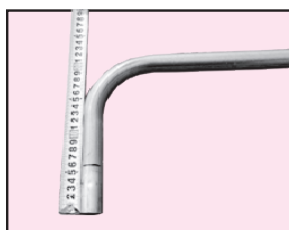
T型ジョイントの拡大図。



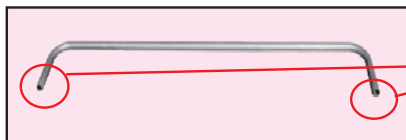
位置が決まった各T型ジョイントのネジを軽く締め込み、仮固定します。

⑤ 十字ジョイントの縦差込パイプの内側から、44.5cm計り、そこが中心になります。

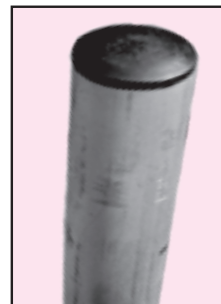
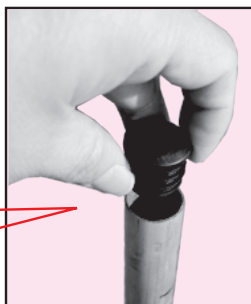
※ ①アーチ用パイプの差込部に、5.7cmの目印線を付けます。
(左右差込部 ×2本)



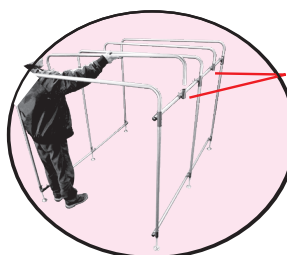
※ ①アーチ用パイプの差込部に、⑥キャップを取り付けます。
(左右両サイド ×2本)



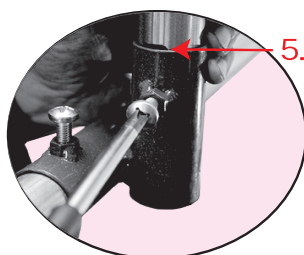
(左右差込部 ×2本)



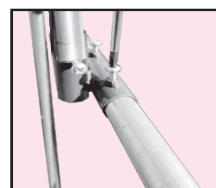
※ キャップが付いたアーチ用パイプを差し込み、5.7cmの目印線に合わせ、固定します。



差し込みます。

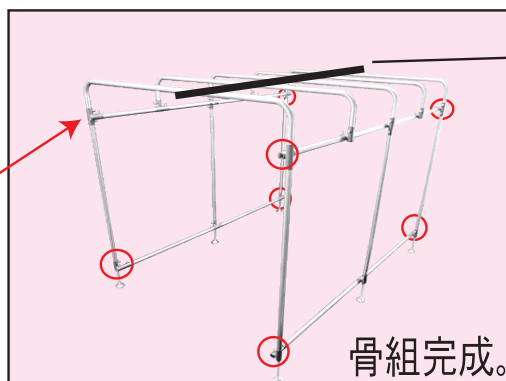
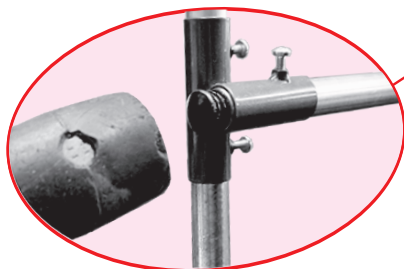


5.7cmの目印線。



アーチ用パイプ差込後、横通し取り付けネジを締め込んでください。

※ ⑥キャップを、8箇所、取り付けます。



5本のアーチ用パイプは、同じ高さになります。

骨組完成後、左右平行確認をし、再度各ジョイントのネジの締め込みをしてください。

6 骨組に幌天幕を被せます。

※ ⑨幌天幕を、袋から取り出し広げます。
この時、幌(後ろ部)のファスナーを、
すべて、開けておきます。

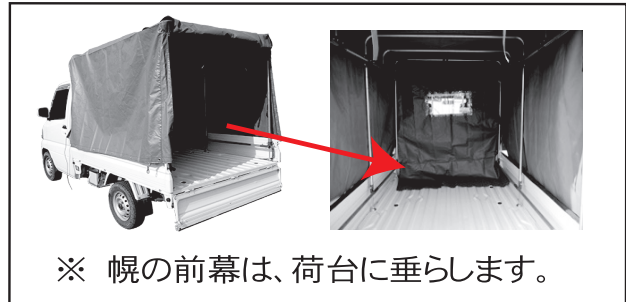


※ ⑩幌天幕を、骨組に被せます。 ※ ファスナーがある方が、
(骨組に前後はありません。) 幌の後部になります。

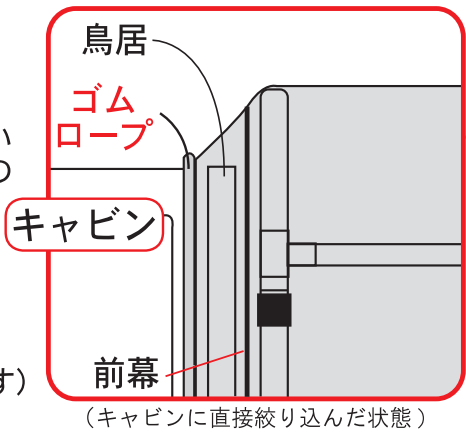
※ 天幕を広げる際、地面を引きずり、傷つけないよう、注意してください。
ファスナーの開閉は、必ず、持ち手(スラス)を使用してください。

7 幌セットを、軽トラに取り付けます。

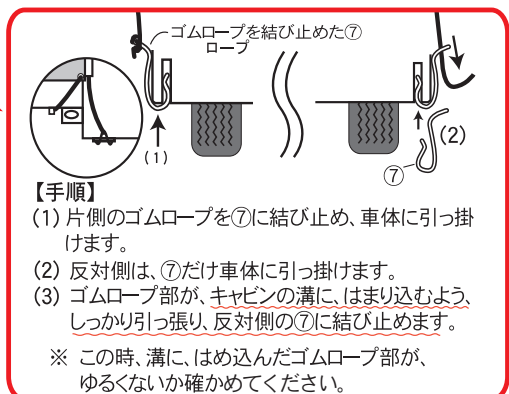
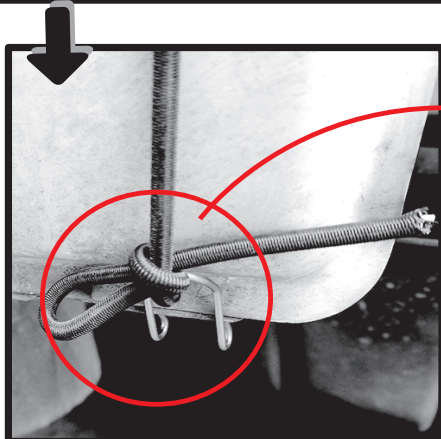
● 幌セットを、載せます。



前幕カブリ部を
キャビンに出来る
だけ隙間が出来ない
ように、キャビンの
溝に合わせます。



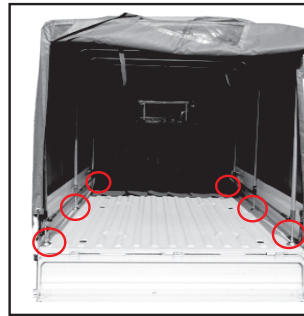
(車種により溝の
形状が異なります)



※ カブリ部に隙間ができてたり、破りすぎた場合は、脚用パイプアジャスターで、上下調整してください。

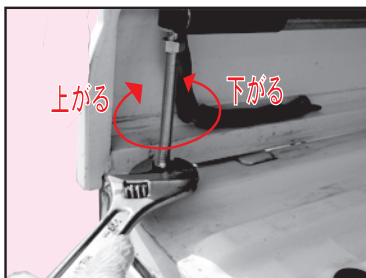
● 幌の高さ調整。

※ 脚アジャスター(6本)を最終調整します。各車の、一本一本の設置状況に応じて、高さの微調整を行ってください。

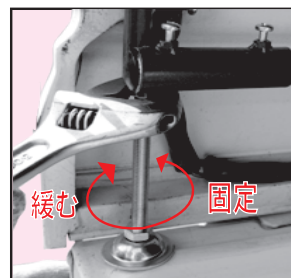


脚アジャスター6箇所

各メーカー、年代により、荷台の形状等に違いがあります。各車の状況に合わせて、一本ずつの調整を、オススメです。



高さ調整は、アジャスター下ナットです。右回して、幌セットが上がります。左回して、幌セットが下がります。



アジャスター上ナットは、固定用になります。高さ調整の際は、緩めて作業してください。

※ 脚アジャスターの調整後は、上ナットを締め込み、しっかり固定してください。



8 幌セットを、軽トラックに固定します。

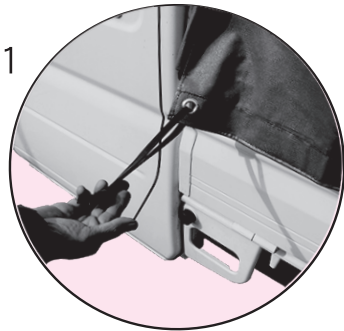
- ⑧固定用ロープで、幌セットの骨組を固定します。(脚用パイプ 6本)。



各脚用パイプ 6本をしっかり、固定してください。

● ゴムバンドの取り付け。

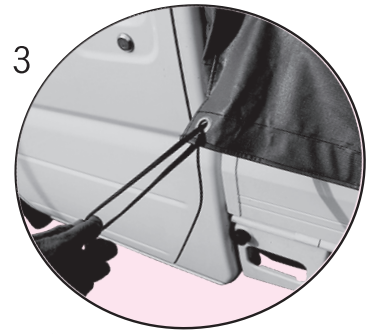
※ ⑩ゴムバンドを、幌幕のハトメ穴に通し、輪を作ります。



1 ⑩ゴムバンドを、ハトメ穴に通し、結び付けます。



2 結びつけたゴムバンドを回します。



3 結び目が、ハトメの下に隠れます。ゴムバンドが、引っ掛けやすくなります。

※ 全部のハトメ穴に

⑩ゴムバンドをとりつけます。 ※ 幌幕両側面のゴムバンドを、荷台フックに引っ掛け、固定します。



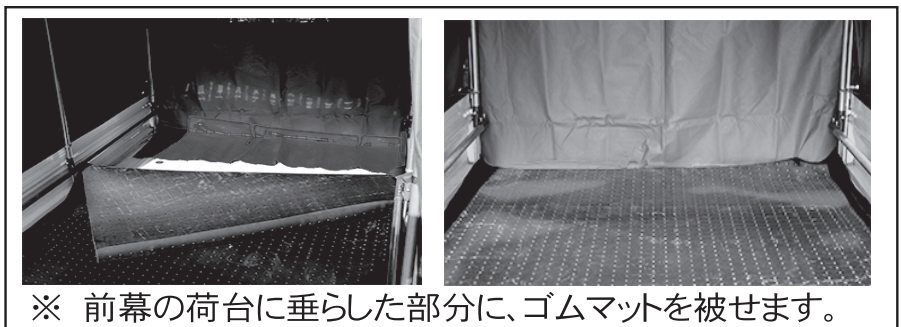
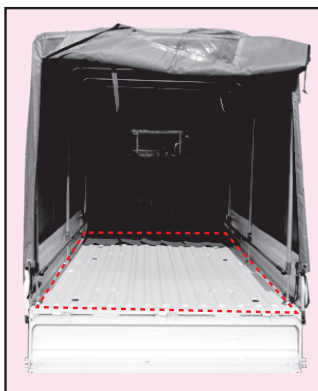
後幕は、内部の取り付け作業を行いますので、空けたままで結構です。

● 幌内部(幕内部に付いている紐)を、骨組に取り付けます。



● 軽トラック用ゴムマットで固定します。

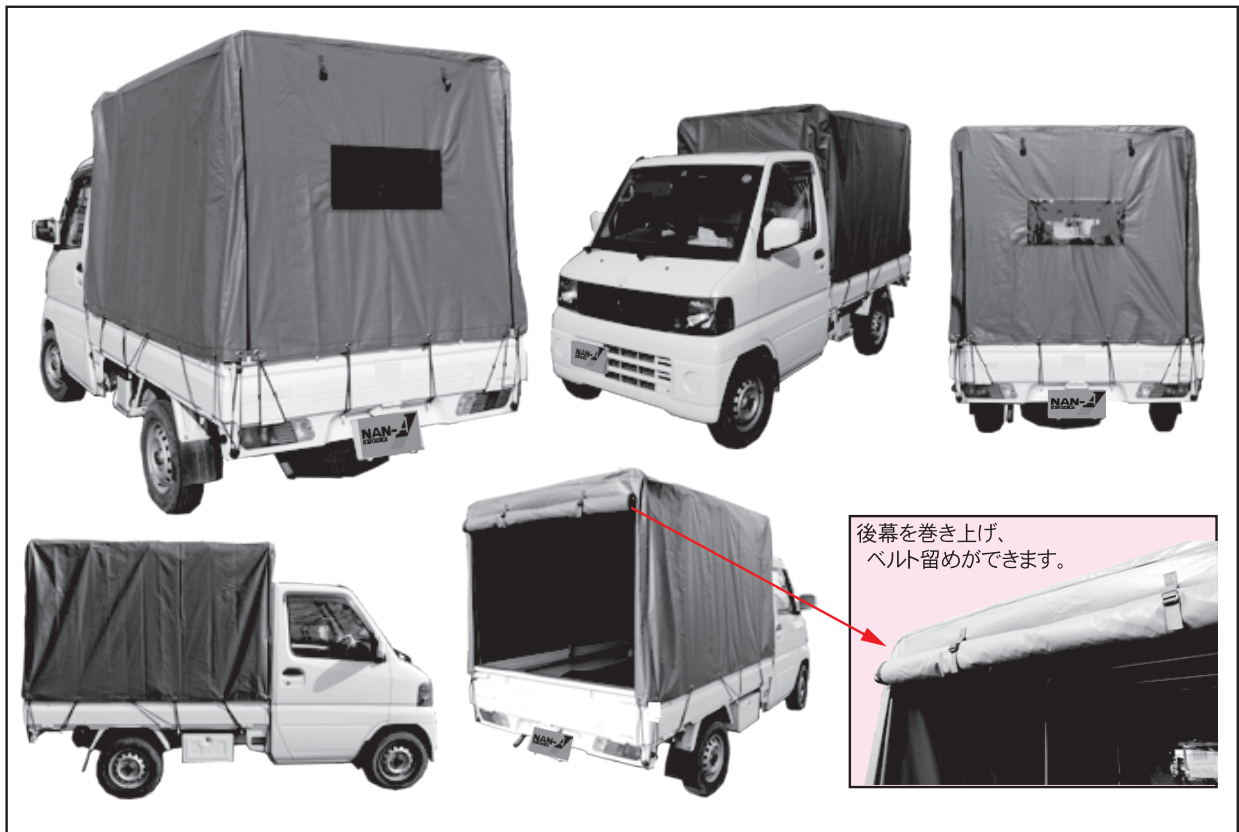
(軽トラック用ゴムマット(別売り)は、個別にご用意ください。)



※ 前幕の荷台に垂らした部分に、ゴムマットを被せます。

※ 前方から入ってくる雨水を、ゴムマットと荷台の間に流し込み幌内部を濡らしにくくする効果があります。

完成 軽トラ幌セット KH-5



- ※ 高速走行(高速道路等)は危険ですので、お止めください。
- ※ 走行する際は幌天幕をしっかり、ゴムバンドで固定してください。幌天幕のバタつきは、シートの消耗の原因になります。また、走行中に、幌天幕が外れる恐れがあり、大変危険です。
- ※ 定期的に各箇所の、ボルト、ナット、ネジ等の緩みがないか、確認してください。

各車イメージです

